

所与の整数 A, B, C, D, E は相異なるので、3数の選び方は次の10通り：

$\{A, B, C\},$
 $\{A, B, D\},$
 $\{A, B, E\},$
 $\{A, C, D\},$
 $\{A, C, E\},$
 $\{A, D, E\},$
 $\{B, C, D\},$
 $\{B, C, E\},$
 $\{B, D, E\},$
 $\{C, D, E\}$

これらのうち和が3番目に大きいものが求める値である。